

令和4年度 事業報告

概 要

令和4年度の事業計画に基づき、関係行政機関の適切な御指導と会員各位の熱意ある御努力により、自主管理体制の推進強化を中心として食品衛生思想の普及啓発、食中毒防止運動の徹底等を図った。

第1 庶務報告

1 役員

会 長	1人	} 理 事 13人
副会長	3人	
専務理事	1人	
理 事	8人	
監 事	3人	

※別表1 (R4年度役員名簿)

2 会員数

正 会 員	11,732人 (別表2のとおり)
賛助会員	14社

第2 事業報告

1 食品衛生自主管理体制の推進強化事業

行財政改革等の厳しい情勢下において県当局の御理解と県議会諸先生方の熱意ある御協力のもと、次のとおり委託及び補助を得ることができた。

- ① 県委託金 (食品衛生指導員巡回指導等委託事業)

3, 928, 001円

- ② (公社)日本食品衛生協会特別補助金

545, 030円

(1) 食品衛生指導員巡回指導事業

県下 11 食品衛生協会に配置された食品衛生指導員が、県から巡回指導を委託された 11 業種に対し、食品営業許可更新時期の 5 月、8 月、11 月、2 月に定期巡回指導を、7 月、8 月に夏期一斉巡回指導を、さらに 12 月に年末一斉巡回指導を実施し、延指導員数 5, 671 人で延指導件数 17, 874 件の実績を得ることができた。

(2) HACCP 導入支援事業

HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の定着と振り返りのために、行政の支援を受けて次の委託事業を行った。

〈HACCP の考え方を取り入れた衛生管理講習会〉

- ・「飲食店営業」「菓子製造業(菓子)」「菓子製造業(パン)」「漬物製造業」「そうざい製造業」の 5 業種を対象とした新規事業者を中心に受講者を募り、県内(熊本を除く)の地域食協で年 2 回、計 20 回以上を目標に講師を派遣し、講習会を実施した。

講習会実施回数	計	22	回
---------	---	----	---

受講者	計	888	名
-----	---	-----	---

(3) 食品衛生指導員養成事業

行政当局のご協力の下に養成講習会を実施し、新たに 59 名の指導員を養成した。

第 1 回	令和 4 年 8 月 24 日(水)	益城町	36 名
-------	--------------------	-----	------

第 2 回	令和 5 年 2 月 16 日(木)	熊本市	23 名
-------	--------------------	-----	------

(4) 食品衛生指導員部長研修会事業

令和 4 年度巡回指導の重点指導事項である「HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の定着と振り返り」を各地域の指導員部長と共有するべく、2 年ぶりに集合形式の研修会を阿蘇市において実施した。また、日食協共済部のご協力を得て、共済部長研修も併せて行った。

(5) 食品衛生責任者養成事業

当協会の公益事業と位置づけ、地域食品衛生協会に委託して新規営業者及び未受講者を対象に食品衛生責任者養成講習会を実施した。また、今年度より HP を刷新し、オンライン形式（eラーニング）による責任者養成講習を開始した。

本年度養成人員 2,809 名（うち eラーニング修了 1,321 人）
（別表 3 のとおり）

2 食品衛生広報活動事業

(1) 一日食品衛生監視員事業

一日食品衛生監視員事業を公益事業のひとつと位置づけているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響から活動を自粛せざるを得ない地域もあったため、同事業が実施されたのは 2 地域のみで食品衛生協会のみであった。食品の表示や取扱い方法、保存法など食品衛生に関する知識や情報の提供など所期の目的を達成できた。同時に食品衛生協会の知名度向上にも貢献した。

実施食協数 (夏期) 1 (年末) 1

(2) 消費者との意見交換事業

一日食品衛生監視員事業終了後に行う食品営業者と消費者の意見交換事業についても実施し、食品衛生の普及を図ることができた。

(3) その他

県内 11 保健所と連携し、食品の製造や販売等に係る記録の普及を図った。

3 食品衛生功労者等の表彰事業

食品衛生の普及、向上や施設の改善に尽力された会員を各地域食品衛生協会が推薦し、理事会で決定のうえ、定時総会において表彰した。

- ・ 食品衛生功労者 18 名
- ・ 食品衛生優良施設 15 施設

また、厚生労働大臣表彰、(公社)日本食品衛生協会の会長表彰及び食品衛生指導員理事表彰が行われ、次の会員がそれぞれ表彰された。

(1) 厚生労働大臣表彰

①食品衛生功労者 (2 名)

- ・ 藤田 義治 (人吉球磨：漬物製造業)
- ・ 伊牟田 眞司 (有明：飲食店営業)

②衛生優良施設 (2 施設)

- ・ 金波楼 (八代)
- ・ 株式会社オーケーフーズ (菊池)

(2) (公社)日本食品衛生協会会長表彰

①食品衛生功労者（6名）

- ・石原 徳一（阿 蘇：飲食店営業）
- ・三浦 博（宇 城：飲食店営業）
- ・宮部 光輝（八 代：飲食店営業）
- ・黒田 忠廣（天 草：飲食店営業）
- ・豊田 亘（熊本市：食肉販売業）
- ・河本 一善（八 代：菓子製造業）

② 食品衛生優良施設（2施設）

- ・肥後 俵屋（菊 池）
- ・菊南温泉ユウベルホテル（熊本市）

③ 行政担当官感謝状（3名）

- ・山田 薫理（熊本県）
- ・友枝 沙紀（熊本県）
- ・鳥井 さおり（熊本市）

(3) 食品衛生指導員理事長表彰（5名）

- ・久村 將美（有 明：飲食店営業）
- ・原田 英司（鹿 本：みそ又はしょうゆ製造業）
- ・森 隆博（阿 蘇：漬物製造業）
- ・浦中 智樹（宇 城：水産製品製造業）
- ・宮崎 賢祉（人吉球磨：飲食店営業）

(4) 厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰

九州ブロック大会(福岡県)において、次の会員が表彰された。

- ・宇都宮 公一（阿 蘇：飲食店営業）

4 ふぐ処理師試験受験準備講習会

例年、熊本県が実施する「ふぐ処理師試験(令和5年2月6日)」を受験する食品営業者及び従事者のため、試験対策の講習会を実施しているが、今年度も講習会に使用する教本等の作成が法改正後の基準に合わないことや講習会自体の収益が見込めないなど諸般の事情により開催実施を見送った。

5 各種共済事業

各地域の共済部長を筆頭に共済事業の推進に努めた結果、所期の実績を上げることができた。(別表4～6)

6 大会、会議、研修会等の開催

適切な法人運営を図るため、次の会議等を開催した。

- (1) 定時総会 令和4年6月21日(火)

- (2) 理事会 第1回 令和4年5月10日(火)
第2回 令和4年7月19日(火)、
第3回 令和4年12月6日(火)
第4回 令和5年3月14日(火) すべて熊本市にて開催

- (3) 事務職員研修会 令和4年9月13日(火)、14日(水) 人吉市

7 刊行物作成・販売、斡旋に関する事業

地域食協の事業が円滑に実施されることなどを目的に、食品営業許可申請書等の販売や斡旋を行った。

8 ノロウイルス食中毒等予防講習会の開催

(公社)日本食品衛生協会の「ノロウイルス食中毒予防強化期間」に呼応して各地域食協の協力の下に、ノロウイルス食中毒が多発する時期を控えた11月と12月に熊本市及び八代市において参加人数を制限した上で講習会を開催した結果、79名が受講した。

特に集団給食施設関係の受講者が多く見られ、ノロウイルス食中毒予防に大きく寄与するとともに、食品衛生協会の認知度アップにも貢献できた。

令和4年11月28日(月) 熊本市 51名

令和4年12月2日(金) 菊池市 28名

9 第11回食品衛生指導員大会の開催

食品衛生指導員の技術の向上と研鑽を目的として、日頃の活動をもとに、県内8地域から選出された食品衛生指導員の体験発表を行い、最優秀者(有明地域:内田 拓)を決定した。

なお、最優秀者は、令和5年度における九州ブロック大会並びに全国大会での発表の機会が与えられる。

10 その他

熊本県の健康危機管理課及びくらしの安全推進課、並びに県下の保健所や九州農政局等の関係行政機関と連携して、各種事業を推進した。

また、熊本県の「食の安全推進会議」や「健康づくり県民会議」の主要な構成団体として食品関連団体と連携して県の施策推進に寄与した。